

あさひむら としよかん新聞

村立朝日村図書館発行

2024年9月1日

(第42号)

9月



「図書館でますます元気に！」

今月は国民の祝日、敬老の日があります。

国民の祝日に関する法律によれば、敬老の

日は9月の第3月曜日で「多年にわたり社会

につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝

う。」とされています。老人福祉法では65歳

以上を高齢者としていますが、敬老の日をお

祝いする年齢は特に決まっておらず、何歳か

らお祝いするの？と思う方もいるかもしれ

ません。

人生百年時代といわれる現代の60代は

若々しい方も多いため、70代を迎えてから

敬老の日をお祝いするという方が増えてい

るようです。その一方で孫が生まれると、

年齢にかかわらずプレゼントを渡したり、お

祝いをしたりするご家庭も多くなってきてい

るのだとか…。

現在、日本の100歳以上の人口はおよそ

9万2千人です。医療技術の進歩や公衆

衛生の向上など様々な事が要因となり多

くの人が長生きできるようになりました。

まだまだ若い朝日村の高齢者の皆さん、ま

ますお元気で過ごすことができますよ

う、朝日村図書館も応援しています。読書

や音読は脳や身体に良いとされていますの

で、ぜひ図書館をご利用いただき元気に長

生きしてくださいね。」えべやにも朝日村

図書館の本を貸し出しているのですからうで

も本を読むことができます。

今年度、当館を利用されている方の中で

最高年齢は97歳です。

(8月20日時点)



今月おすすめの1冊

「優生保護法」が存在した時代、「母」はどのよう

に生きたのか。「ぼく」はどのように

して生まれたのか。幸せだった瞬間も、悲しかった瞬間も、すべて。

※コーダである息子が未来に進むために描く、小さな家族の歴史。

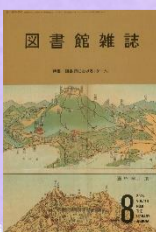


「聞こえない母に訊きに行く」
五十嵐 大・著 柏書房・出版

「図書館雑誌」に掲載されました

朝日村図書館が「図書館雑誌8月号」の小規模図書館奮闘記というコーナーに掲載されました。

小規模図書館ならではのエピソードや、工夫している点などを交えながら朝日村図書館の日常を紹介しています。



図書館に所蔵していますので手に取って読んでみてください。

認知症について知りましょう



9月21日は世界アルツハイマーデーです。そこで図書館では朝日村地域包括支援センターと協力して「認知症コーナー」を設置しました。健康に生活している今だからこそ知っておくべきことがたくさんあります。老いは誰にでも平等にやってきますから、自分や家族のために認知症という病を積極的に学び、理解を深めていきましょう。

【子どもに読んでほしい認知症】

「じいちゃん、出発進行！」

「ばあばは、だいじょうぶ」



【理解しよう認知症】

「マンガでわかる！認知症の人が見ている世界」

「ボクはやっと認知症のことがわかった」

「認知症世界の歩き方」



【今日から始める認知症予防】

「一日1杯5分の習慣 腸活とフレイル予防に『みそ汁』」

「肺と脳を鍛える！1話1分音読ドリル」

「医師が発見した認知症バイバイ体操」



他にもたくさんあります。ぜひ認知症コーナーをご利用ください。